

2024 年 12 月 20 日

2 学期終業式校長あいさつ

中学

戦争を一旦始めてしまったら止めることが難しいことを私たちは知りました。日常の中に平和を考える材料がたくさんあります。友達とのトラブルで心を傷つけてしまったら「私はこう思う。あなたはどう思う？」と対話し、学び直せば、いつでも軌道修正できます。

戦争をしない・させない国がどうしたらつくれるか一緒に考えましょう。私は余裕をつくって、人間性を回復し人権感覚を研ぎ澄ますことだと思います。子どもの声を聞いたつもりにならずに、子どもの声から始める。私たち大人は、来年そんな年にしたいと思います。

高校

「学校」は頑張るのが当たり前とされてきました。しかし、頑張れない、取り組めない、朝起きられない、たくましくない子は、果たしてダメでしょうか？弱音を吐ける居場所があって「大丈夫今はゆっくり休もう」と一緒に悩んでくれる人がいれば「私は独りじゃない」と救われます。弱い者になってこそ得られる喜びであり豊かさです。

2024 年は元旦の能登の大地震、米不足など気候変動の影響、明るいニュースは大谷翔平さんの痛快な活躍。そんな中「被団協」のノーベル平和賞授賞のニュースが飛び込んできて、私は嬉しくて涙が出ました。差別され見えない者にされてきた被爆者の長年の努力の結果です。戦争は一旦始めたら終わらせることが難しいとわかったけれど、被爆者に光が当たったことは世の中少しずつよくなっている証です。希望をもって新しい年を迎えましょう。良いお年を。